

製品名: CD88 (リン酸化 Ser338) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04410**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	C5AR1
別名	C5AR1; C5AR; C5R1; C5a anaphylatoxin chemotactic receptor; C5a-R; C5aR; CD antigen CD88
遺伝子 ID	728.0
SwissProt ID	P21730
免疫原	抗血清は、ヒト CD88/C5aR 由来の Ser338 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

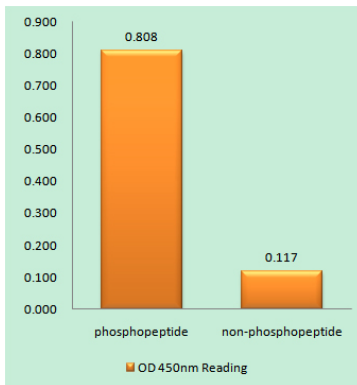
機能: 走化性および炎症性ペプチドであるアナフィラトキシン C5a の受容体。この受容体は、走化性、顆粒酵素遊離、およびスー

パーオキシドアニオン産生を刺激する。、PTM: 硫酸化は受容体と C5a の会合において重要な役割を果たしているが、受容体がシグナル伝達能力や小ペプチド作動薬に対するカルシウム動員能力には重要な役割を担っていない。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、機能: 走化性および炎症性ペプチドであるアナフィラトキシン C5a の受容体。この受容体は、走化性、顆粒酵素遊離、およびスーパーオキシドアニオン産生を刺激する。、PTM: 硫酸化は受容体と C5a の会合において重要な役割を果たしているが、受容体がシグナル伝達能力や小ペプチド作動薬に対するカルシウム動員能力には重要な役割を担っていない。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、

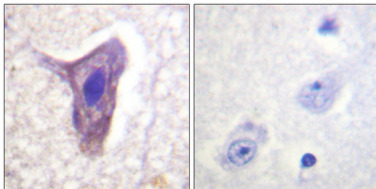
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;補体および凝固カスケード;

画像データ



CD88/C5aR (リン酸化 Ser338) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



CD88/C5aR (リン酸化 Ser338) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。